

新たに協力隊員を委嘱

小野町地域おこし協力隊委嘱状交付式

小野町地域おこし協力隊委嘱状交付式が1月15日、役場で行われ、**宍戸開さん**、**宍戸佳織里さん**に委嘱状が交付されました。

交付式では、町長から新たに隊員となった二人に歓迎の言葉が述べられました。

地域おこし協力隊とは、地域外(都市部)の人材を町に受け入れ、地域の活性化のために活動してもらう制度です。開さんは「直売所おのげんき」で、佳織里さんは「商工会」で、それぞれ地域活性化のために活動していただきます。

町の隊員は、情報発信分野で活動している菅原守さんとあわせて3人となりました。

開さんと佳織里さんの今後のご活躍を期待します。



新たに隊員となった宍戸開さん(右)と佳織里さん

新隊員の二人からコメントをいただきました！

《開さん》

『頑張って活動していきます。町で見かけたら気軽に声を掛けてください！』

《佳織里さん》

『皆さんの力をお借りして、さまざまな活動に挑戦していきたいと思います。よろしくお願いします！』



左から長谷川会長(小野町担い手育成総合支援協議会)、岩橋さん、町長

新たな担い手誕生

青年等就農計画認定書交付式

岩橋亮さん(塩庭二区)に対する青年等就農計画認定書の交付式が1月11日、役場で行われました。

これは、新たに農業経営に取り組もうとする青年等の5年先を見据えた就農計画が掲げられている青年等就農計画を町が認定し、認定された新規就農者に対し重点的な措置を講じようとするものです。

今回の計画には、親の農業経営(施設野菜と露地野菜)を一部継承する計画が盛り込まれています。

今後の岩橋さんのご活躍を期待します。なお今回の認定で町内の認定新規就農者は4人となりました。

農業の担い手を応援

新規就農支援金交付式

國分小雪さん(小戸神)に対する夢のある農業者育成推進事業(新規就農支援事業)の支援金交付式が12月26日、役場で行われました。

この事業は、新規就農者の就農初期の負担軽減と将来の夢のある農業担い手としての成長を期待して、就農後1年から3年を経過した方に対し、町から支援金を交付するものです。

國分さんは平成28年12月20日付けで認定新規就農者に認定され、このたび満1年を迎えられました。農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻化する中で、やる気と能力のある農業の先駆者として、國分さんのご活躍を期待します。



國分さん(左)と町長